

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)平塚市見附町計画	階数	地上10F
建設地	平塚市見附町27-1 外2筆	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	172 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2016年1月10日
敷地面積	852 m <sup>2</sup>	作成者	(株)アート総合企画
建築面積	436 m <sup>2</sup>	確認日	2016年1月10日
延床面積	3,695 m <sup>2</sup>	確認者	(株)アート総合企画



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 100%  
②建築物の取組み 64%  
③上記+②以外の 64%  
④上記+ 64%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境  
Q2 サービス性能  
Q3 室外環境(敷地内)  
LR1 エネルギー  
LR2 資源・マテリアル  
LR3 敷地外環境

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 4.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.8

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.6**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 当敷地はJR東海道本線平塚駅北西部に位置し、近隣には最近多くのマンションが建設されている。集合住宅の設計に際し、計画上の配慮としては近隣を含めた周辺環境を壊さず、いかに調和するかに配慮した。又、建物配置計画においても、出来るだけ緑地を増やし、空地率・緑化率の増大に配慮した。		<b>その他</b> 特にありません。
<b>Q1 室内環境</b> 音環境に関しては、重・軽量衝撃音の低減を重視した。温熱環境では、品確法による等級3のレベルで断熱材を施工する。空気環境に関しては、仕上材料はF☆☆☆☆基準の材料を使用します。	<b>Q2 サービス性能</b> 耐用・信頼性に関しては、建築物構造部分の耐用年数を長くするため品確法(劣化)による等級3の材料で施工します。住宅設備等に関しても、品確法(維持管理)による等級2のレベルで施工する。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内の環境に関しては、敷地の空地率を出来るだけ増加させ、その部分への植栽を計画しています。又、空地率の増加による風等による影響の低減を考慮します。
<b>LR1 エネルギー</b> 省エネルギーに関しては、集合住宅であるので共用部分の照明機器・照明器具は省エネルギー仕様の製品を使用します。又、給湯にはエコジョーズを使用します。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 汚染物質に関しては、空調機器はフロン等の環境汚染物質は使用しません。	<b>LR3 敷地外環境</b> 周辺の環境に関しては、ベランダ手摺を腰壁とし近隣へのグレアの影響を低減しています。又、外壁の表示等は発光する様な表示は行いません。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される